



中部産業遺産研究会主催 シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第34回  
「稼働遺産とその活用 ー新たな展開を求めてー」のご案内

中部産業遺産研究会では、本年も公益社団法人日本技術士会中部本部様に後援を頂き、シンポジウム「日本の技術史をみる眼」を開催致します。

第34回となりました今回は、「稼働遺産とその活用 ー新たな展開を求めてー」というテーマでシンポジウムを開催致します。

稼働遺産とは、稼働中の産業遺産のことを言います。東海地域では、四日市の可動橋である末広橋梁、知多や三河の織布工場などが対象として挙げられます。2015年に世界遺産登録された「明治日本の産業革命遺産」では稼働中の産業遺産が焦点となり、旧官営八幡製鉄所の旧鍛冶工場や長崎造船所のクレーンなど、現役の施設や機械が登録されました。しかし現役であることの課題も言われています。稼働遺産の意義や課題、そして活用についても議論したいと思っております。

基調講演には2015年7月に世界文化遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産」に関わられた九州国際大学特任教授の清水憲一氏をお迎えします。

シンポジウムの詳細は

<http://csih.sakura.ne.jp/nitigi.html>

をご参照下さい。ホームページからの参加お申し込みができます。

◆日時：2016（平成28）年2月21日（日）午後1時～午後4時45分

◆会場：トヨタ産業技術記念館 ホールA

◆参加費（講演報告資料集の代金を含む）

○一般 1,000円

\*中部産業遺産研究会員 500円

\*学生で資料を必要としない場合 無料

○懇親会費 5,000円（予定）

※参加費は当日のお支払いも可能です。

※振込先【郵便振替】

口座番号：00880-2-83831

口座名称：シンポジウム「日本の技術史をみる眼」

（個人での振込は申込者の名前をお願いします）

◆定員：シンポジウム 最大99名（会場の定員）

懇親会：30名

（定員になり次第締め切らせていただきます）

◆お申し込み 以下の「申し込みフォーム」からお申し込みができます。

<http://csih.sakura.ne.jp/sympo.html>

懇親会の参加も受け付けております（申し込みフォームから懇親会の参加についてもお申し込みできます）。

なお、技術士の皆様には中部産業遺産研究会からCPD行事参加票（日本技術士会のフォーマットに準じたもの）を発行させていただきますので、お申し込みフォームからCPD行事参加票が必要である旨をドロップダウンリストから選択してお申し込み下さい。

特に会員の皆様のご参加をぜひお願いいたします。

---

### 【3】『産業遺産研究』第22号論文の訂正について【New】

---

『産業遺産研究』第22号論文の訂正について

平成28年2月13日

会誌編集委員会

『産業遺産研究』第22号掲載の論文「「幡豆石」の運搬軌道」（白井昭・藤井建）につき、

執筆者から訂正（正誤修正）の申出がありましたので、下記のとおり訂正いたします。

6 頁の右欄 1 行目

誤：「生駒車」（名古屋城築城に関わった生駒家の家紋）の刻印

正：「生駒車」（名古屋城築城に関わった加藤清正が採石し、運んだことを表す記号）の刻印

以上

【4】大人の算数・理科シリーズ：モノづくりの原点 第4 2回／杉本漢三【New】

青色LED（BLUE-Light Emitting Diode）

我々の日常生活の照明器具に既にLEDが省エネとして多く溶け込んでいる。道路信号の赤、青、黄色灯はほとんど省電力、長寿命のLEDに代わっている。しかし、植物工場で使われようとしていることはあまり知られていない。光合成（植物はCO2を吸収してO2と水を放出する）の光源に蛍光灯を使って植物栽培することは、以前から普及している。

実は植物は、青色LEDと赤色LEDを吸収すると栄養、機能成分の高い野菜などが栽培できることが分かってきた。例えば、ルッコラでの実験では、ビタミンCが自然光の3倍も多く含まれると報告されている。

ただし、緑色に対しては植物は反射してしまうので効果はなさそうだが、病気に強くする効果はあるようだ。赤色と青色のLED照射割合やその照射強さを制御する植物工場の普及は、宇宙ステーションでの食糧生成も期待でき、そこで燃料電池からできる飲料水とともに、より長期の宇宙滞在ができそうだ。なお、第二世代として、一つで青・赤色一体発光のLEDが考えられている時代である。



中部産業遺産研究会のニューズレターは電子メールアドレスをお持ちの会員の皆様にGoogleグループのメーリングリストのシステムを使って配信しています。

配信元：中部産業遺産研究会 会報編集委員・広報幹事 橋本 英樹

E-mail：[hidekih@wine.plala.or.jp](mailto:hidekih@wine.plala.or.jp)

Copyright 2002-2014 The Chubu Society For The Industrial Heritage, Allrights reserved.



このメールはGoogleグループのグループ「中部産業遺産研究会」の登録者に送られています。

このグループから退会し、グループからのメールの配信を停止するには[csih+unsubscribe@googlegroups.com](mailto:csih+unsubscribe@googlegroups.com)にメールを送信してください。

<https://groups.google.com/group/csih>からこのグループにアクセスしてください。

その他のオプションについては、<https://groups.google.com/d/optout>にアクセスしてください。